



葛飾北斎「紫陽花に燕」より構成

📌 2019年度 NPO 法人かわさき市民アカデミー「総会」報告

2019年度認定 NPO 法人かわさき市民アカデミーの総会が5月21日（火）、プラザで開催されました。出席・書面・委任状による160名の参加があり、総会の定足数を満たし成立しました。



藤嶋昭理事長から、「理事長に就任し9年目を迎えます。この間、7000名を超える日本一の市民大学となりました。ひとえに川崎市をはじめ、関係者の皆さまの協力の賜物と感謝いたします。」太田猛彦学長からは、「2007年からアカデミーに参加。2011年 NPO 法人として完全独立して以降、拡大してきている。これまでの努力が今後の発展の基礎になっていくのではないか。」公財）川崎市生涯学習財団山田雅太理事長から「昨年、年間1154講座（プラザ、市民館、新百合21ビル、他）の教室の確保、受講生募集の新聞折り込みのチラシの支援を行いました。これからもアカデミーとの協働を強め、生涯学習の核となるよう努めてゆきたい。」とのお話がありました。

その後、議長に守田理事を選出。2018年度の活動報告と2019年度活動方針が報告され、6つの議案が提出され、議事に入りました。

1. 報告事項について

はじめに吉松副理事長から、総括として2018年度活動報告と2019年度の活動方針が、つづいて総務、事業推進、広報、地域連携各部会長からそれぞれの活動と方針が報告されました。

2. 2019年度の活動方針—重点施策の抜粋

①講座に関して

- ・今年度後期、科学の新講座を増設します。さらにもう1講座の増設の準備を始めます。
- また、教室の入れ替え等工夫し、さらに抽選講座の減少を図ります。
- ・現役勤労者などのための夜間講座の開設に取り組みます。

②事務局業務の整備

- ・現行の業務を見直し、サポートスタッフなどボランティアの協力と増員を図ります。
- ・ホームページの改良など、業務のIT化を図ります。

③制度、規程の運用の定着化と講座の支援

- ・抽選制度、修了制度、会員制度など運用の定着化と改善を図ります。
- ・講座の開設・廃止規程の運用を実効あるものとし、受講生の少ない講座の支援を行います。

④広報活動

- ・中原区武蔵小杉周辺のマンション群に注目し、受講生増に取り組みます。
- ・公共機関への積極的な広報活動、新聞、テレビ等マスメディアの活用を図ります。

⑤学習成果を活かした地域還元活動の支援

- ・受講経験者グループが新たに社会還元活動に取り組む際の支援をします。

2019年度 NPO かわさき市民アカデミー役員の紹介

理事長 藤嶋 昭
 副理事長 森田 幸士 阿部 秀一
 理事 稲田 素子 岡 毅一郎 木村 ますみ 菅沼 俱万
 関 智義 千田 智子 中澤 晶人 守田 啓子
 吉松 岳史 間 健吉
 監事 田辺 初子 重藤 和義 (敬称略、五十音順)

新理事の一言～「終の住処で頑張ります」

間 健吉

WSの後皆さんと酒を酌み交わし雑談を楽しみにアカデミーに通う一受講生から役員という立場となり、少ない脳みそを使い、回らない気を遣い、足を動かしてアカデミー発展に僅かでも寄与できればと思っています。

川崎在住 20年、終の住処で頑張ります。

新監事の一言～「受講生の一人として」

重藤 和義

知れば知るほど無知を知る…、アカデミー受講の実感です。つくづく思います。同じ思いの方も少なくないと思います。なのに、なぜ学ぶのでしょうか。でも、「だから」学ぶのかもしれない。そんな受講生の目線を忘れることなく監事します。

🔔 2019年度 後期受講生募集 開始

- 「講座のご案内」パンフレット配布開始 7月5日（金）
- 受講申込み期間 7月5日（金）～8月23日（金）
- 7月6日（土）からインターネットで受付を開始します

2019年度後期は、さらに充実した過去最多の56の講座・ワークショップを開講します。詳細は、「講座のご案内」パンフレットをご参照ください。



☆「受講説明会」を開催します。一是非、お友だちやお仲間をご紹介くださいー

	高津市民館	麻生市民館	中原市民館	
日付	7/22 (月)	7/23 (火)	8/1 (木)	
時間	10:00～ 11:30	10:00～ 11:30	10:00～ 11:30	13:30～ 15:00
定員	30名	50名	36名	36名

お友だちをご紹介いただきその方が受講された場合、新規受講者にご紹介された受講生それぞれに記念品を差し上げます。

☆「講座のご案内」パンフレット設置場所（アカデミー専用ラック）のご案内

区役所、市民館等公共施設のご協力を得て“受講生募集”案内を置いています。

- ・川崎区 川崎図書館 教育文化会館
- ・幸区 幸文化センター
- ・中原区 中原市民館 中原図書館 国際交流センター
- ・高津区 高津市民館
- ・宮前区 宮前市民館
- ・多摩区 多摩市民館 多摩図書館
- ・麻生区 麻生市民館 麻生図書館 アートセンター

※上記以外の区役所・図書館等の公共施設でもパンフレットは入手できます。

話題の講座・WSの紹介

講座3 現代事情「AIとロボット—人間はいらなくなる？」

代表世話人 飯田 信康

少々過激なタイトルをつけた2019年前期の「現代事情」は、AI・ロボットの各分野で活躍されている先生方の興味深い講義の連続です。進化した愛玩ロボット『アイボ』、AIによる翻訳・通訳、囲碁・将棋とAI、宇宙探査ロボットのAI技術、車の自動運転、そして“AIやロボットは敵ではない”。

100人を超える受講生の多くが鉄腕アトム世代の私たちも、AIやロボットと共に生きる時代に住んでいることを実感しています。

「現代事情」講座はこれからも、私たちが直面している国内や世界の時事問題を取り上げていきます。どうぞご期待ください。



講座風景

講座201 東海道のかわさき宿交流館協力講座

世話人 高橋 邦晴

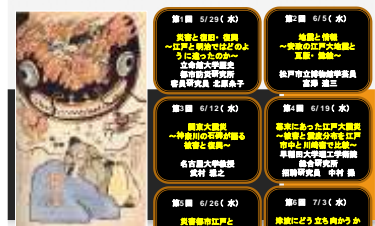
川崎駅から徒歩10分、旧東海道の面した「東海道かわさき宿交流館」を会場に、昨年から新たに開設された講座です。昨年は「明治維新から150年」にちなんで、西郷隆盛や明治維新で活躍した人物を通して明治維新の様々な姿を学びました。

今年は日本の災害史を学んでいます。

このように主に歴史をテーマとする講座ですが、今まで音楽以外の講座がなかった川崎南部地域に新たな講座が出来たことを歓迎する声もあり、それを励みにしながら講座運営に力を入れています。



日本の災害史—江戸から平成まで



交流館協力講座のチラシ

講師のご紹介

コーディネーター兼講師 竹内 整一先生（講座20 人間学再論—生老病死の思想）

世話人 折居 晃一

竹内先生は2011年度から人間学講座及びワークショップのコーディネーターであり、副学長も兼任なさっておられます。東大教授、日本倫理学会会長等を歴任され、現在は鎌倉女子大学教授です。NHKテレビ“チコちゃんに叱られる”にも出演なさいましたので、ご覧になった方も多いと存じます。先生の特徴は包容力の大きさと率直さにあります。どのような人の意見も尊重され、対等な立場で議論していただきます。講座には先生の交友の広さを反映して、多様な講師をお招きいただいています。勿論先生も講師として登壇いただいています。

講座のテーマは生老病死の思想です。人生の“生・老・病・死”をどのように受け止め、どの様に対応してゆくのかをユニークな講師陣が多様な観点から論じてゆくような構成になっています。あまり専門的にはならず、全体が見えやすいように分かり易く話していただき、これを受けて受講生が自分なりに生き方に取り入れていただきたいとの構成になっています。

多くの方々のご参加をお待ちしております



竹内先生

🔔 「お答えします」－アカデミーとNPOに関するQ&A－ 世話人とは？

皆様から世話人に関する質問もよく頂戴します。

Q 「講座を受講する時に、私たちは世話人の方々のお世話になります。講座の準備や司会、講師の紹介などの活動をされている姿を目にしますが、世話人には他にどのような仕事があるのでしょうか？また、どのような方が世話人をなさっているのでしょうか？」

この質問には、次のようにお答えしました。

A 「アカデミーは、市民による自主運営を基本にしています。現在、アカデミーには 50 を超える講座・ワークショップがありますが、それを自主的かつ継続的に運営するには、“講師との連絡・講座運営に必要なもの（出席簿、使用する機材等）の準備・資料の印刷・会場設営・講師との対応・講座の司会・野外講座では場所の下見や活動のサポート”など、運営に必要な業務を担当する人がいなくてはなりません。アカデミーの運営責任はNPOにあります。その役員や事務局のメンバーだけでは、全ての講座・ワークショップで運営に必要なこれらの業務を行うことは出来ません。そこで、各講座・ワークショップの受講生から運営世話人（世話人）を募集し、事務局に登録してこれらの運営業務を担当していただくのです。日常的に世話人募集の呼びかけをしていますが、実際に自分から進んで応募して下さる方はほとんどいないので、担当役員や現世話人が、受講生の中でアカデミーの運営にも関心を示す方に声をかけ、世話人への就任をお願いしているのが実情です。

世話人の活動に対して報酬をお支払いすることはありません（NPO が主催する会議等に出席するための交通費はお支払いします）。その点は、ボランティア活動と同じです。ただ世話人がいないと講座・ワークショップの運営が出来ないので、その講座・ワークショップの受講申し込みが多く抽籤になった場合には、世話人は優先的に受講できるという特典があります。

このように世話人は、講座・ワークショップの運営に欠かせない存在ですが、一人の方がいつまでも続けることは出来ません。ご自身の高齢化・ご家庭の事情等によって、世話人を続けられない方が出て来ます。そのため、アカデミーでは常に世話人の募集活動を行い、世話人を補充する必要があるのです。こうしたことをご理解いただき、世話人への就任を働きかけられた際には、気持ちよくお引き受けいただけると有難いです。よろしくお願いいたします。』

現在、アカデミーには 218 名の方が運営世話人として登録されています。講座・ワークショップによって人数は違いますが、大体その講座の受講生数の 15% 以内となっています。川崎市が運営から手を引こうとしていたアカデミーを何とかして存続させるために、2006 年に市民による自主運営組織（NPO）がつけられ、その一環として運営世話人制度もつけられました。しかし、この時初めて受講生が運営にも参画するようになったのではなく、演習（今のワークショップ）では 2004 年から受講生がその企画運営に関わっていたのです。その経験が後に講座の自主運営にも生かされ、さらに運営世話人制度をつくる際にも役立ちました。このようにアカデミーでは、受講生自らがそれまでの様々な経験を生かし、それを発展させながら自主運営を可能にする仕組み（運営世話人制度）をつくり上げてきたのです。

かわら版編集委員会

編集後記

5月21日、2019年度のアカデミーの通常総会も無事終了。名実ともに新たな年の一歩を踏み出しました。

かわら版編集委員会も昨年1名、今年は新たに2名の方に加わっていただきました。アカデミーに関連する情報を積極的に提供できるよう、これからも努めてまいります。

K.O

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会
編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590 FAX044-722-5761

メールアドレス：

info@npocademy.jp

ホームページ：

http://npocademy.jp/